

		チェック項目 (修正版)	はい	どちらとも いえな い	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が保育室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースを確保しているが、親子日など、状況によっては狭く感じることもある。今後も親子で心地よく、安全に過ごせるような環境と療育プログラムを引き続き考えていく。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		法令で定められている職員配置数の基準は満たしているが、全体的には不十分と感じる場面もある。／契約職員に限らず、人材の確保が課題となっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。	○			今後も子どもがわかりやすい空間を目指し、試行錯誤しながら環境づくりを進めていく。
	4	はばたき園の生活の流れは、子どもたちにとって分かりやすいか	○			親子にわかりやすく設定している。引き続き療育プログラムの目的について丁寧に説明をしていきながら、親子にとって無理なく過ごせる療育プログラム作りに取り組む。
	5	はばたき園は障害の特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			実施している。引き続き子どもの特性に合わせたコミュニケーションの取り方を心掛ける。
	6	はばたき園は、子どもたちが安全で清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	○			親子が安全に心地よく過ごせるような環境づくりを心がけている。安全面についてはヒヤリハット体験報告書を利用しながら職員全体での共有を行っている。
	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			実施している。PDCAサイクルの概念が今後もより浸透するように、日々の実践の中で意識していく。

業務改善	8	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		令和元年度より保護者向け評価を実施し公表している。今後も内容について職員全体で共有し業務改善につなげていく。	
	9	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		令和元年度より自己評価の結果についてホームページ上に公表し、また保護者控室にも掲示しているが、保護者に周知が行き届いていない点が課題。	
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点では第三者による外部評価は行っていないが、過去には評価を受けており、その際指摘された事項については改善に努めてきた。
	11	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			確保している。今後も研修の年間計画等をもとに継続して実施する。
適切な支援の提供	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			作成している。引き続きアセスメントを実施しながら、児童発達支援計画を作成する。
	13	子どもの状態を捉えるために発達検査などの標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			第一はばたき園の園児に対してはK式発達検査とS-M社会生活能力検査等を主に使用してアセスメントを実施している。
	14	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	○			引き続きガイドラインに則り、児童発達支援計画を作成する。
	15	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			引き続き児童発達支援計画に則った療育に取り組む。
	16	日々の活動プログラムの立案をクラス職員が主となり決めているか。	○			決めている。クラス職員が中心となり親子の状態に合わせて作成していく。

適切な支援の提供	17	日々のあそびなど、活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			定期的に職員ミーティングを行い、気づいたことをクラスで共有しながら活動プログラムを工夫している。
	18	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			作成している。今後も集団、個別活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画の作成を心掛ける。
	19	登園前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			確認している。バス添乗の職員には書面で引き継ぎ、漏れがないよう工夫をしている。
	20	降園後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			主に記録時に職員間でその日行われた支援の振り返りを行っている。また、クラス会議を実施し、支援の仕方について共有するようにしている。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			今後も子どもの様子を端的かつ的確に記録し、より良い支援につなげていけるよう取り組んでいく。
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			行っている。引き続きガイドラインに則り、定期的な児童発達支援計画の見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて、児童発達支援管理責任者を始めクラス職員と参画していく。
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			行っている。今後も必要に応じて関係機関との連携のもと支援を実施していく。
	25	(医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			行っている。今後も保護者からの相談を受けながら、必要な支援を検討し、福祉サービス、教育、医療などの各機関との連携を図っていく。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや、重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			行っている。引き続き連携を深めていく。

関係機関や保護者との連携	27	卒園の際、保護者の同意を得たうえで、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			卒園先への引継ぎは、保護者の同意を得てから、実施している。
	28	進学の際、保護者の同意を得たうえで、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			卒園先への引継ぎは、「療育まとめ」を作成し、保護者から同意を得たうえで、情報提供を行っている。
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			他事業所を併用している場合はケア会議等、適宜児童発達支援管理責任者が中心に連携を取っている。
	30	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在幼稚園、保育園等との子ども同士の交流は行っていない。保護者からの希望は強いため、引き続き検討課題。
	31	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			現在も参加している。引き続き職員会議などを通じて、自立支援協議会の動向を職員と共有することに努める。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			引き続き保護者と共通理解を持てるよう取り組んでいく。今後懇談の回数及び時期についても検討を行う。
	33	保護者を対象とした支援プログラムを実施しているか（療育教室 保護者研修など）	○			実施している。保護者研修、療育教室については年間計画に基づき実施している。
保護者への説明責任等	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			引き続き丁寧な説明を心掛ける。
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			引き続きガイドラインに則り、児童発達支援計画の内容を保護者と一緒に検討し作成に当たる。
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			行っている。今後さらに適切に応じられるよう、懇談の機会や時期について検討を行う。

保護者への説明責任等	37	親の会への活動支援など、保護者同士の関係づくりに取り組んでいるか	○			引き続き保護者会の運営をサポートしていく。今年も密を避ける為、休憩室の分散などに取り組んだ。コロナウイルスの感染状況が落ち着いているときに、保護者交流会を行った。
	38	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談については、随時クラス職員または児童発達支援管理責任者が対応している。引き続き保護者が相談しやすい環境づくりに取り組む。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			令和元年度より緊急時メール配信システムを導入している。必要な情報は口頭や書面で伝えている。毎月のクラス便り、献立表の他、保健便りを発行している。
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報了他機関へ情報提供する際は、保護者の同意を得ている。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童発達支援計画にルビを表示するなど、内容が分かりやすいよう、配慮している。また、外国籍の保護者、児童に対しては日本語でゆっくり説明し、必要に応じて英語などを交えて伝えている。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度、地域住民との交流は法人全体のイベントとして行ったが、事業所として招待する取り組みはできなかった。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症になったことを踏まえ、地域と関りをもつ行事を、事業所主体で実施することも検討していく。

非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			クラスに1部ずつ各マニュアルがあり、今年度もマニュアルの中身をクラスで確認するなど、浸透に努めた。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練は年間計画に基づき毎月実施している。今年度も水害対策のため1階から5階に上がる垂直避難訓練を行った。
	45	事前に、服薬やアレルギー、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			服薬、配慮点等の情報を適宜保護者、通園看護師と共有している。
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応している。アレルギーについては保護者より医師の指示書を提出したうえで除去食の提供を行っている。
非常時等の対応	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を用い、事象が起きた際速やかに報告書が作成される仕組みになっている。すぐに周知が必要な事象は朝礼時に全職員に伝えている。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	○			施設内に虐待防止委員会を設置しており、定期的に全職員を対象とした研修を実施している。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束に対する取り組みについては、必要に応じて保護者と確認し、児童発達支援計画に記載している。職員への周知など引き続き取り組んでいく。